

【報道関係者各位】

～子どもの貧困 当事者からの視点～ 日本各地を代表する高校生・大学生が厚生労働大臣に提言

2017年12月吉日
一般財団法人教育支援グローバル基金

1. 趣旨

一般財団法人教育支援グローバル基金（本部＝東京都渋谷区、理事長＝橋本大二郎・元高知県知事）は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」の一環として、日本全国から選抜した高校生・大学生たちが、子どもの貧困解決のための提言を、加藤勝信厚生労働大臣の前で発表する機会を提供します。

提言を発表する6名の高校生・大学生は、児童養護施設に暮らしていたり、単親家庭に暮らしていたり、東日本大震災で家を失ったりと、困難な状況にあります。子どもの6人に1人が相対的貧困にあるといわれる現代日本において、厳しい環境に置かれた子どもたちが、施設に暮らす子どもの実態を自らの体験を基に語り、今後必要とされる取組について提言を発表します。この機会に、ぜひご取材いただきたく、ご案内させていただきます。

2. 日時・場所

2017年12月18日（月） 16時15分～16時30分
厚生労働省

3. 内容

6名の高校生・大学生たちは、自らの生き立ちにおける実体験に基づき、子どもの貧困解決のために必要な施策について提言を発表します。下記は、提言内容の一部です。

私たちが定義した「子どもの貧困」は、どんなに力を尽くしても、生きていくために必要なことができない、またはやりたいと思う夢や目標が実現できないということです。このような表現をしたのは、衣食住のような、生きていくための最低限の条件だけではなく、私たちの年代で言えば、友達と出かけられない、アルバイトに追われた生活でまともに学業に集中できない、留学や進学ができない、といった、無くて生きてはいけるけれど人生を充実させるためにしたいことが出来ない状況も貧困に含まれると考えたからです。

私たちが実現したい社会は、子どもが新たな道を切り開くことのできる社会です。ビヨンドトゥモローに参加して新しい視野を広げ、諦めや自信のない状態から解放されることのできた私たちのような経験をもっと多くの人に経験してほしいと考えました。そうすることによって、それぞれの夢や目標を諦めずに目指せる人が増え、子どもだけではなく、社会全体の未来を明るくすることに繋がると考えたからです。

4. 参加者一覧

氏名	出身地	在籍校	学年
飯田 芽生愛	長野県	長野県長野西高等学校	2年
稲村 ほのか	宮城県	上智大学外国語学部イスパニア語学科	1年
宇都宮 信一	広島県	広島県立呉三津田高等学校	3年
成相 優花	島根県	島根県立大社高等学校	3年
南 湖子	熊本県	熊本県立宇土高等学校	2年
安井 唯華	埼玉県	お茶の水女子大学附属高等学校	2年

代表者プロフィール



稲村ほのか 上智大学外国語学部（宮城学院高等学校卒業）

東日本大震災で自宅を失う。学校には被災した人が少なく、自分に帰る家がないことがつらくて、自分だけが取り残されているような気持ちでした。家、思い出、ふるさとをなくしましたが、一方で、それをきっかけに出会った仲間、強さ、勇気、弱者を思う心など、失ったものより多くのものを得ることができたと感じている。高校時代、ボリビアに1年間留学し、貧困の現状を目の当たりにし、大きな衝撃を受けた。帰国後に参加したビヨンドトゥモローの活動でニューヨークに行ったことをきっかけに、貧困問題にとりくむことを決意。今後も、出会いと体験を大切にしながら、夢にむかって努力していきたいと考えている。



飯田芽生愛 長野県長野西高等学校

幼少時に母を自殺で亡くし、児童養護施設に入所した。その経験があったからこそ、虐待を受けている子供たちや生活に困っている子供たちに寄り添うことができたり、より現実的な問題点や対策を提示できるようになったと思う。在籍高校では国際教養科に所属し、児童養護施設の状況について英語で発表したり、台湾やオーストラリアを訪問し、国際交流活動にも熱心に参加している。将来は、子供たちの「居場所」を創ることが夢。

5. ご取材のお申込み

ご取材を希望される方は、下記情報を、ファックス（03-6745-9100）または電子メール（info@beyond-tomorrow.org）にてご送信ください。お申込みいただいた方に、当日の詳細についてご案内させていただきます。

- ① ご氏名
- ② ご所属
- ③ お肩書き
- ④ お電話番号
- ⑤ 電子メールアドレス
- ⑥ ご住所
- ⑦ お持込になる機材
- ⑧ ご参加人数

6. 一般財団法人教育支援グローバル基金について

一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす人材育成事業「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念とし、社会経済的に弱い立場に置かれながらも、次世代を担う資質と志を持つ若者たちを対象に、より広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出にむけて様々な活動を行ってきました。

理事	橋本 大二郎（理事長） 小林 正忠 佐藤 輝英 坪内 南 本庄 竜介 村瀬 悟	元高知県知事 楽天株式会社 取締役常務執行役員 ビーネクスト ファウンダー&マネージングパートナー 一般財団法人教育支援グローバル基金 事務局長 グリーンコア株式会社 代表取締役 モルガン・ルイス&バッキアス法律事務所 弁護士
評議員	木山 啓子 羽生 善治 宮城 治男 山崎 直子	特定非営利活動法人ジェン（JEN）共同代表理事 将棋棋士 NPO 法人 ETIC. 代表理事 宇宙飛行士
アドバイザー	阿川 尚之 竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授・同志社大学 教授 慶應義塾大学 名誉教授・東洋大学 教授

以上